

D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社（証券コード：6534）

2018年3月期 決算説明会

2018年5月10日

▼ D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 コーポレートサイト

<https://www.dac-holdings.co.jp/>

▼ IRニュースメール配信登録はこちら

<https://www.dac-holdings.co.jp/irmail>

- **2018年3月期 決算概要**
- **広告事業の動向**
- **2018年3月期4Qの取り組み**
- **2019年3月期方針**

<会社名略称>

DACHD : D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

DAC : デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

アイレップ : 株式会社アイレップ

※ 当社の設立は2016年10月ですが、2017年3月期は2016年4月～2017年3月を決算期とし、2016年9月までの実績はDAC連結実績（アイレップ連結を含む）で集計しております。

決算概要

2018年3月期決算のポイント

- **通期累計売上高は2,083億42百万円、営業利益は88億5百万円とそれぞれ2ケタの増収増益を達成し、過去最高額を更新**
(通期累計 売上高前年比 **12.8%増**、営業利益前年比 **27.1%増**)
- 2017年3月期のアイレップの決算期変更による影響額を控除すると、
通期累計売上高は前年比 **18.8%増**、売上総利益は前年比 **15.9%増**
- **今期の配当予想は、23円とし、前期より増配** (前期実績は15円)

※ 2017年3月期3Q実績において、2017年3月期末に行った一部取引の会計方針変更を遡及適用したため、昨年度に発表した3Q・4Q実績数値との相違が生じております。通期累計実績に変更はありません。

連結決算ハイライト

- アイレップの決算期変更の影響を控除すると（下記表のカッコ内を参照）、4Qの前年比は、売上高 120.4%、売上総利益 115.6%と2ケタの成長を達成
- 通期累計のOM率は30.5%となり、前年より4.3pt向上

(百万円)

	2018年3月期 4Q			
	四半期 (2018/1~2018/3)		累計 (2017/4~2018/3)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	59,775	101.1% (120.4%)	208,342	112.8% (118.8%)
売上総利益	8,517	95.9% (115.6%)	28,857	109.3% (115.9%)
営業利益	2,608	104.0% (108.7%)	8,805	127.1% (129.1%)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,070	黒字転換	4,366	20.8倍
EBITDA	2,964	104.2%	10,092	125.8%
OM率 ※	30.6%	+2.4pt	30.5%	+4.3pt

カッコ内は、前年度のアイレップ
決算期変更影響を控除した前年比

※ オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

2018年3月期通期業績予想と増減率

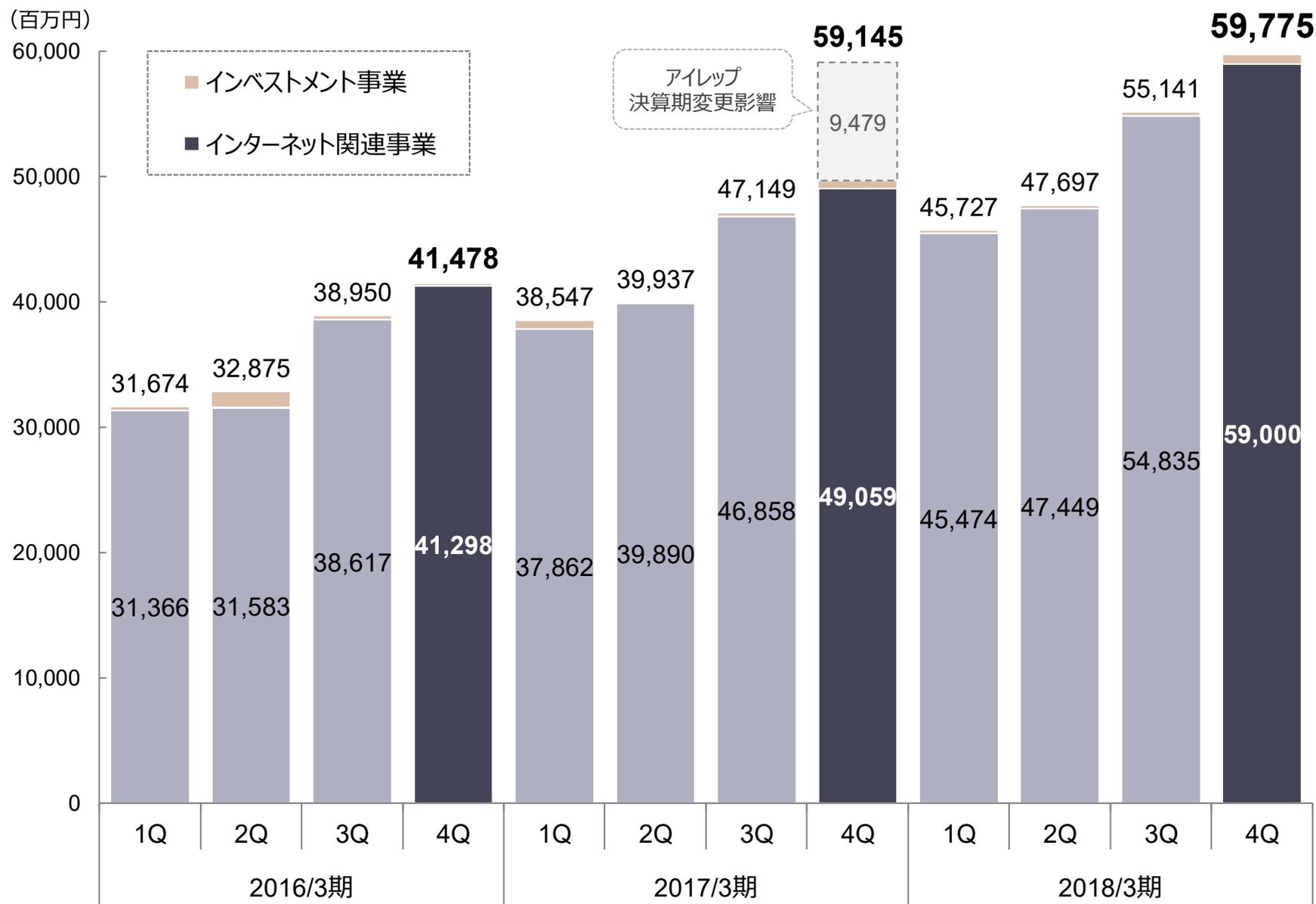
- 5月開示の通期業績予想に対し、各項目で予想を上回る着地となった

(百万円)

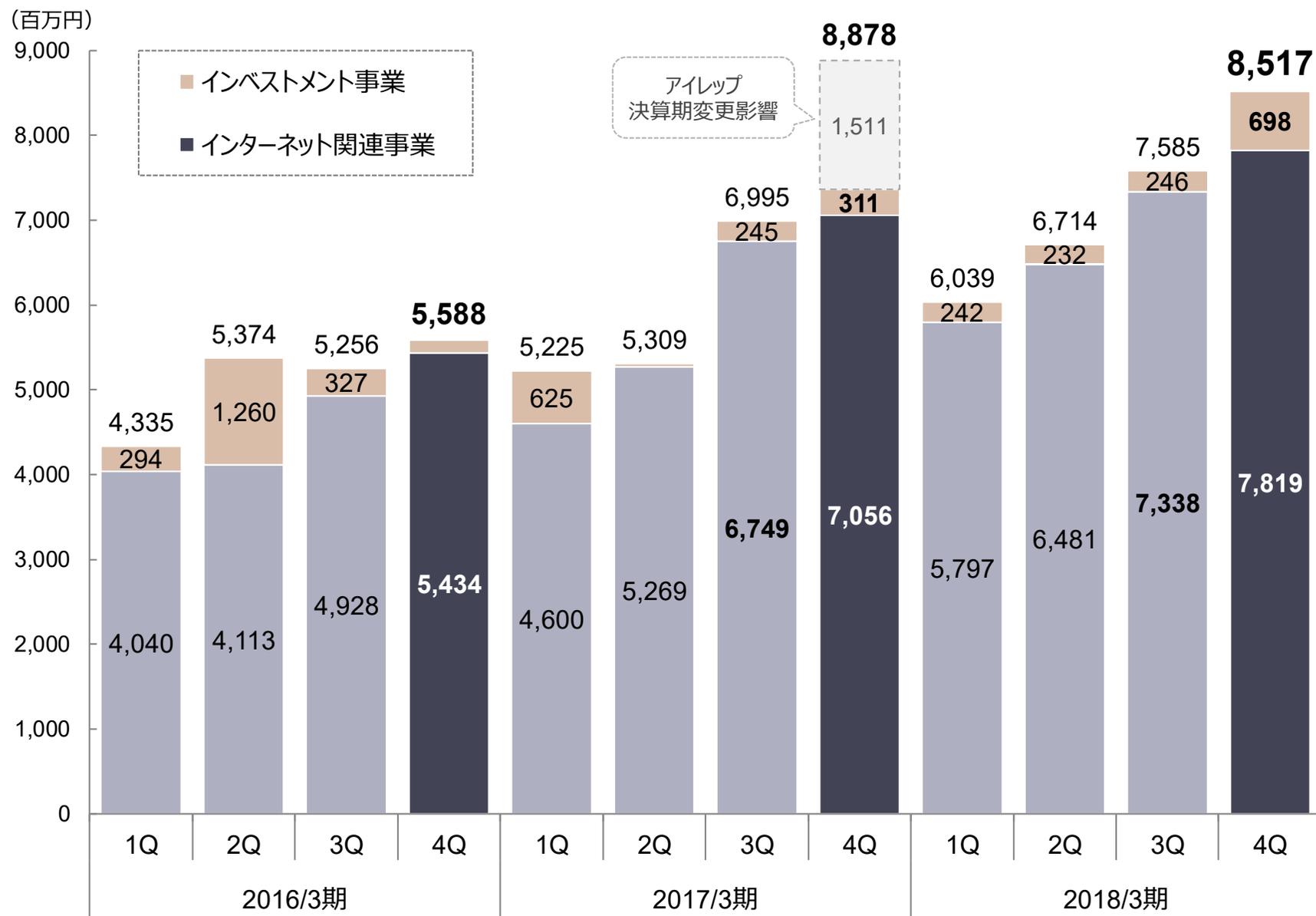
	2018年3月期 (2017/4~2018/3)		
	通期業績予想 (2017/5/11公表)	通期累計実績 (2017/4~2018/3)	増減率
売上高	205,000	208,342	+1.6%
営業利益	7,200	8,805	+22.3%
経常利益	7,200	8,799	+22.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	4,366	+14.9%
1株当たり 当期純利益※	65.08円	74.73円	+9.65円

※ 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の発行済株式総数をもとに算定しております。

売上高の推移



売上総利益の推移

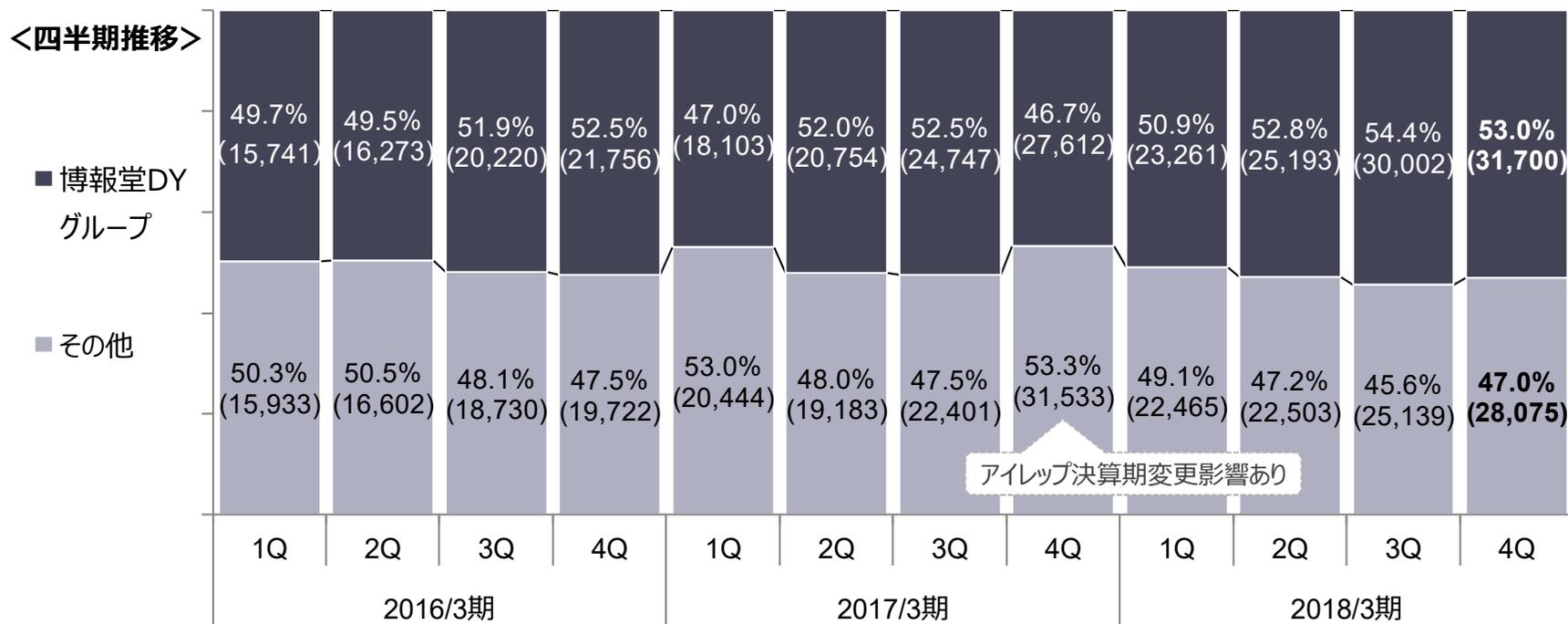


博報堂D Yグループ向け売上高

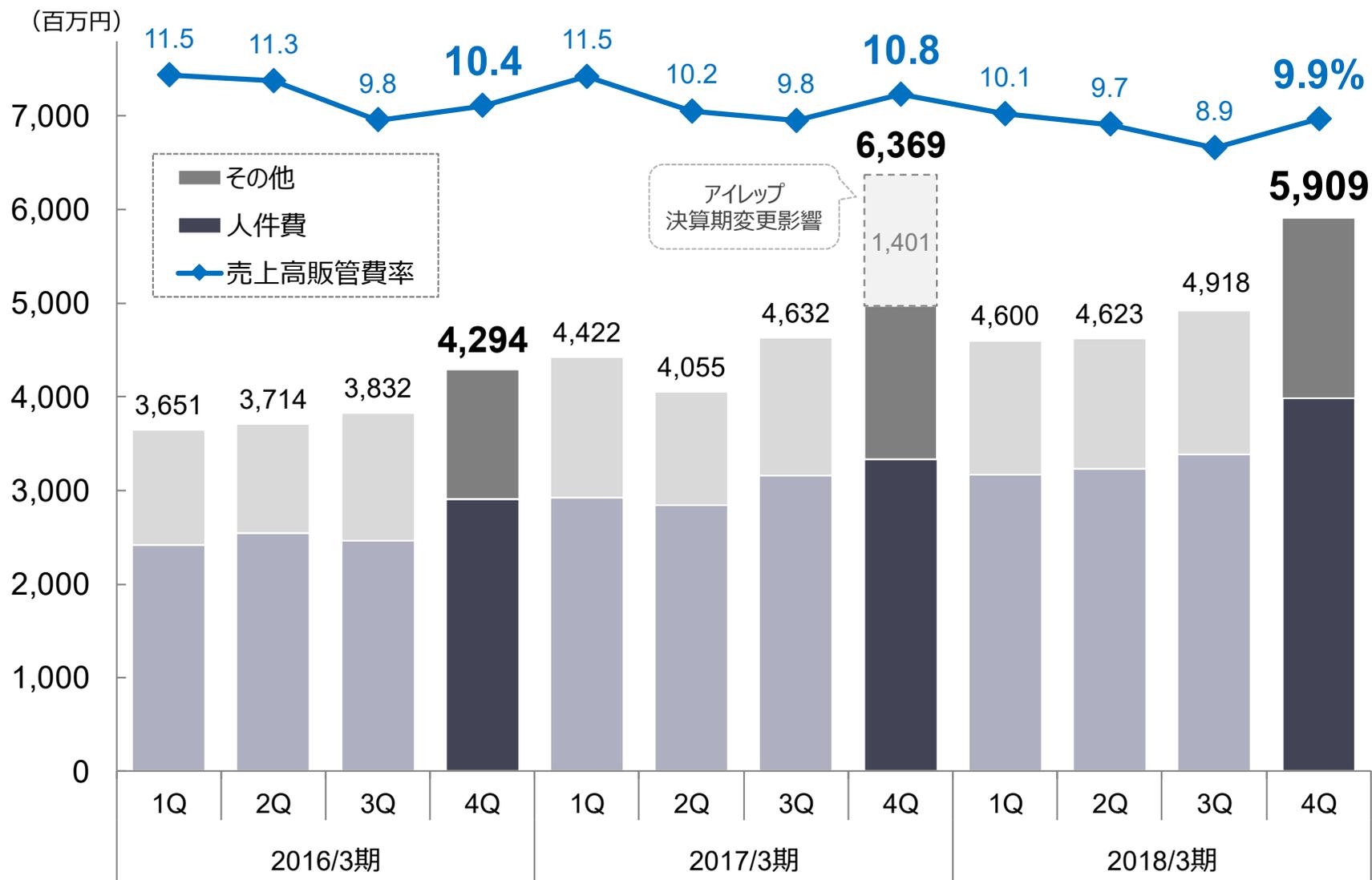
(百万円)

	2017年3月期 通期累計 (2016/4~2017/3)		2018年3月期 通期累計 (2017/4~2018/3)		
	売上	百分比	売上	百分比	前年同期比
博報堂D Yグループ	91,217	49.4%	110,157	52.9%	120.8%
その他	93,562	50.6%	98,184	47.1%	104.9% (116.8%)
合計	184,779	100.0%	208,342	100.0%	112.8% (118.8%)

カッコ内は、前年度のアイレップ
決算期変更影響を控除した前年比



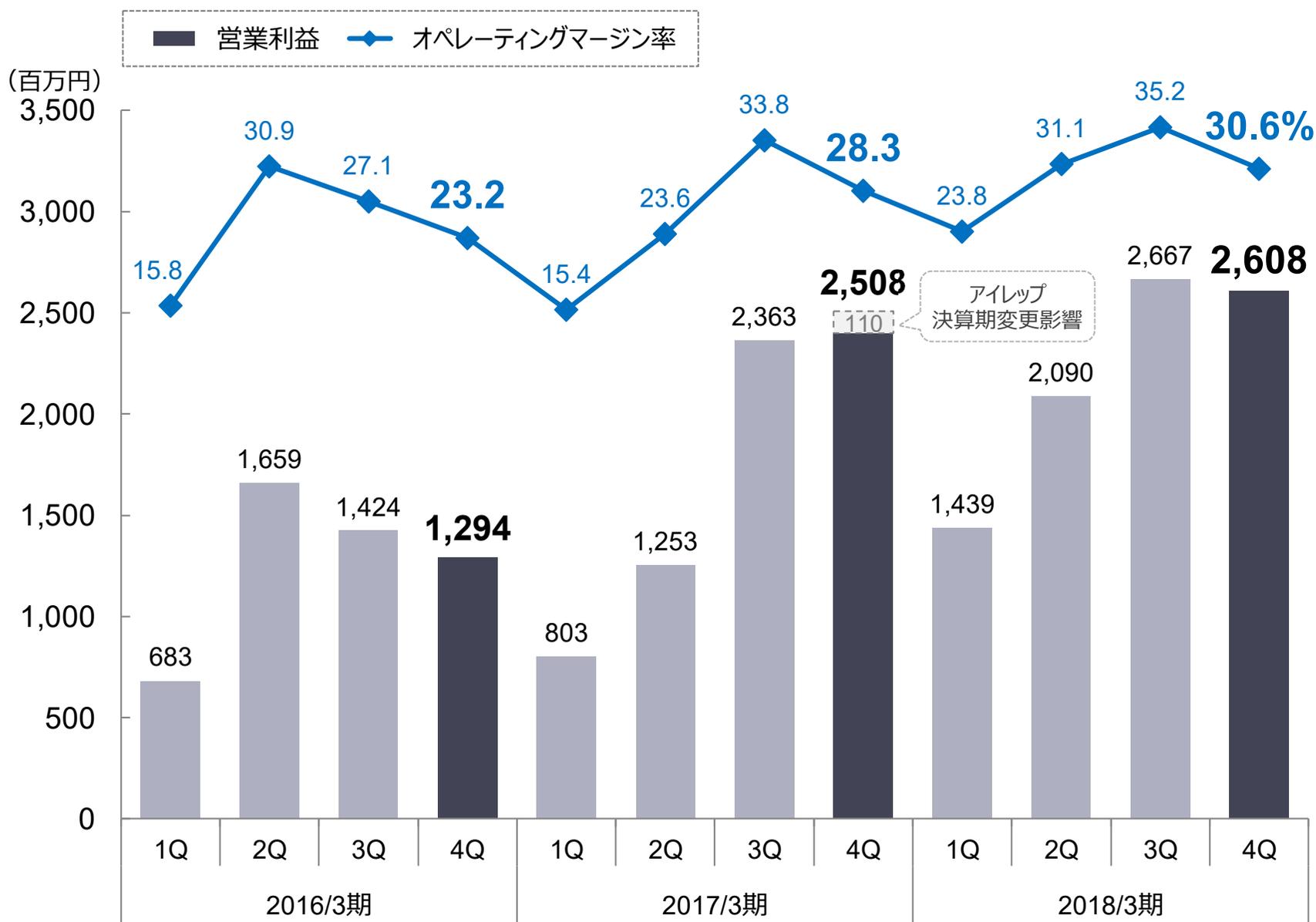
販管費の推移



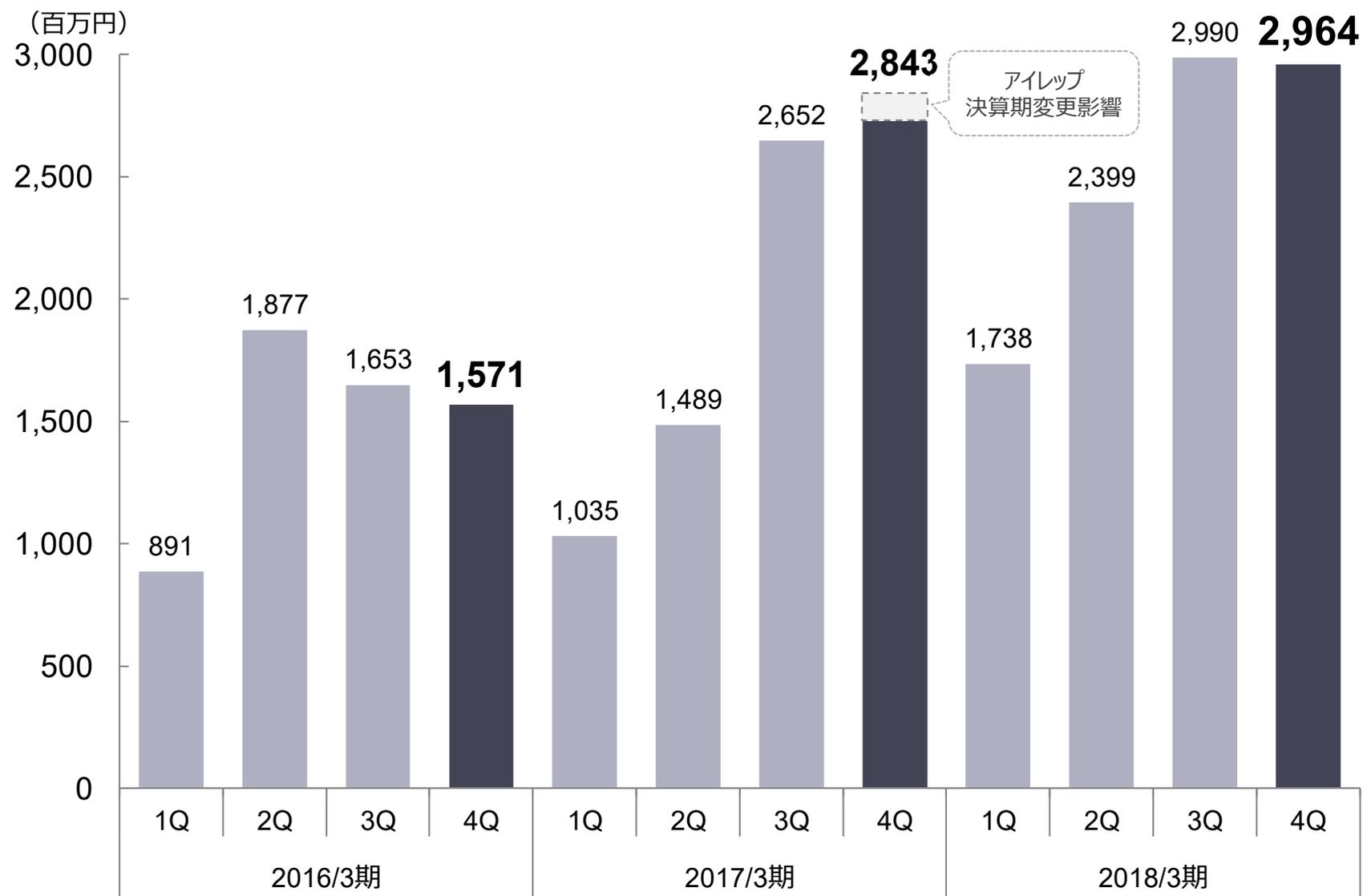
役職員数 2,456名 → 2,947名

(取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数)

営業利益の推移



EBITDAの推移



※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

貸借対照表

(百万円)

	2017年3月期末 (2017/3末)		2018年3月期末 (2018/3末)			
	金額	構成比	金額	構成比	前年期末比	主な増加/減少要因
流動資産	46,504	83.4%	56,320	83.9%	121.1%	現預金及び預金の増加
固定資産	9,263	16.6%	10,835	16.1%	117.0%	有形固定資産等の増加
資産合計	55,768	100.0%	67,155	100.0%	120.4%	
流動負債	28,609	51.3%	36,334	54.1%	127.0%	買掛金の増加
固定負債	1,625	2.9%	1,181	1.8%	72.7%	長期借入金の減少
負債合計	30,234	54.2%	37,515	55.9%	124.1%	
株主資本	16,229	29.1%	19,724	29.4%	121.5%	利益剰余金の増加
非支配株主持分	7,492	13.4%	8,025	12.0%	107.1%	
その他	1,812	3.2%	1,889	2.8%	104.2%	
純資産合計	25,533	45.8%	29,639	44.1%	116.1%	
負債・純資産合計	55,768	100.0%	67,155	100.0%	120.4%	

キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2018年3月期 (2017/4~2018/3)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,917
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	20
現金及び現金同等物の増減額	4,748
現金及び現金同等物の期首残高	20,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,862

■ 主な営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前当期純利益	7,827百万円
・減価償却費	953百万円
・のれん償却額	332百万円
・売上債権の増減額 (△は増加)	△2,287百万円
・営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△679百万円
・仕入債務の増減額 (△は減少)	4,545百万円
・未払金の増減額 (△は減少)	525百万円
・法人税等の支払額	△2,305百万円

■ 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

・有形固定資産の取得による支出	△869百万円
・無形固定資産の取得による支出	△1,153百万円
・投資有価証券の取得による支出	△482百万円
・差入保証金の差入/回収による支出入	△532百万円

■ 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

・長期借入金の返済による支出	△436百万円
・配当金の支払額 (非支配株主への支払額を含む)	△1,140百万円

2019年3月期通期業績予想

(百万円)

	2018年3月期 (2017/4~2018/3)	2019年3月期 (2018/4~2019/3)	
	実績	予想	前年同期比
売上高	208,342	250,000	120.0%
営業利益	8,805	10,000	113.6%
経常利益	8,799	10,000	113.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,366	5,500	125.9%
1株当たり 当期純利益※	74.73円	94.03円	+19.30円

※ 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の発行済株式総数をもとに算定

広告事業の動向

D.A.コンソーシアムホールディングスの事業領域

グループ戦略統括

D.A.Consortium **holdings**

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

東証第二部上場

- 子会社等の経営管理
- テクノロジー & データ戦略
- R&D
- グローバル戦略

インターネット関連事業

パートナービジネス

<DACグループ>



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ メディアサービス ・メディアレップ事業 ・広告プラットフォーム事業 ・オペレーション事業 | <ul style="list-style-type: none"> ■ ソリューションサービス ・制作事業 ・スマホコンテンツ事業 ・テクノロジー開発事業 |
|---|--|

クライアントビジネス

<アイレップグループ>



- ・ 広告代理事業
- ・ ソリューション事業
- ・ ツール事業
- ・ デジタルメディア事業 他

インベストメント事業



事業領域別の状況

(百万円)

	2018年3月期 通期累計 (2017/4~2018/3)				
	売上	売上総利益	粗利率	前年同期比	
				売上	売上総利益
インターネット関連事業	206,760	27,436	13.3%	112.9% (119.1%)	108.9% (115.9%)
パートナービジネス	162,002	22,094	13.6%	121.0%	126.5%
メディアサービス	145,898	14,898	10.2%	122.7%	128.6%
ソリューションサービス	16,103	7,195	44.7%	107.9%	122.5%
クライアントビジネス	44,757	5,342	11.9%	90.8% (112.4%)	79.1% (101.9%)
インベストメント事業	1,582	1,420	89.8%	97.1%	116.3%
合計	208,342	28,857	13.9%	112.8% (118.8%)	109.3% (115.9%)

カッコ内は、前年度のアイレップ
決算期変更影響を控除した前年比

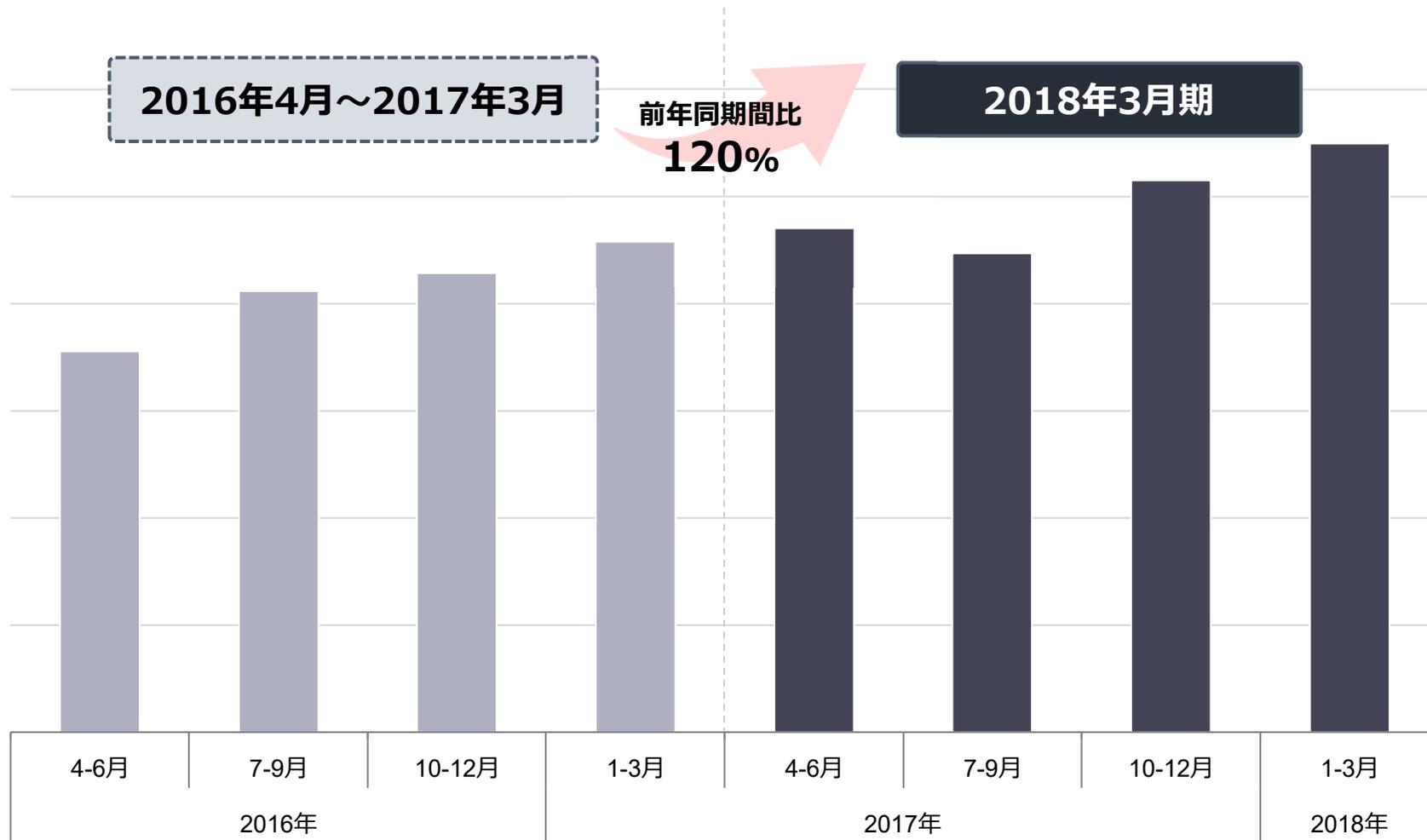
※ クライアントビジネスの前年同期比は、前年度のアイレップ決算期変更の影響により、2017年1月-2018年3月（15ヶ月）との比較をしております。
※ クライアントビジネスの実績において、経営統合によるビジネス間の調整を行っております。

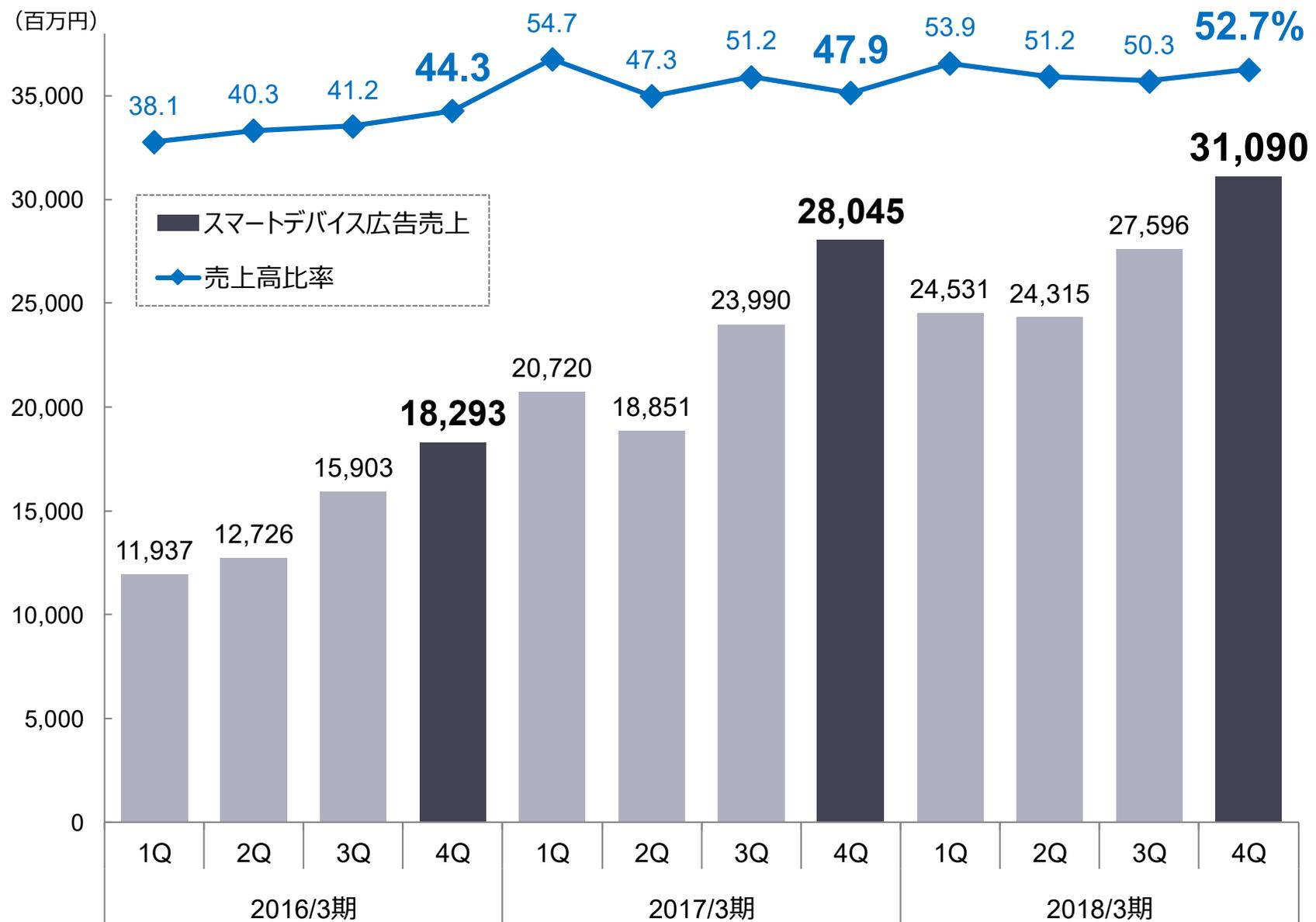
(参考) 各事業領域の内容

インターネット関連事業	インターネット広告に関する事業
パートナービジネス	パートナー（広告会社・媒体社）向けサービス
メディアサービス	メディアレップ事業、広告プラットフォーム事業、オペレーション事業 など
ソリューションサービス	制作事業、スマホコンテンツ事業、テクノロジー開発事業
クライアントビジネス	クライアント（広告主）向け広告代理事業 など
インベストメント事業	DAC、ユナイテッドの投資事業

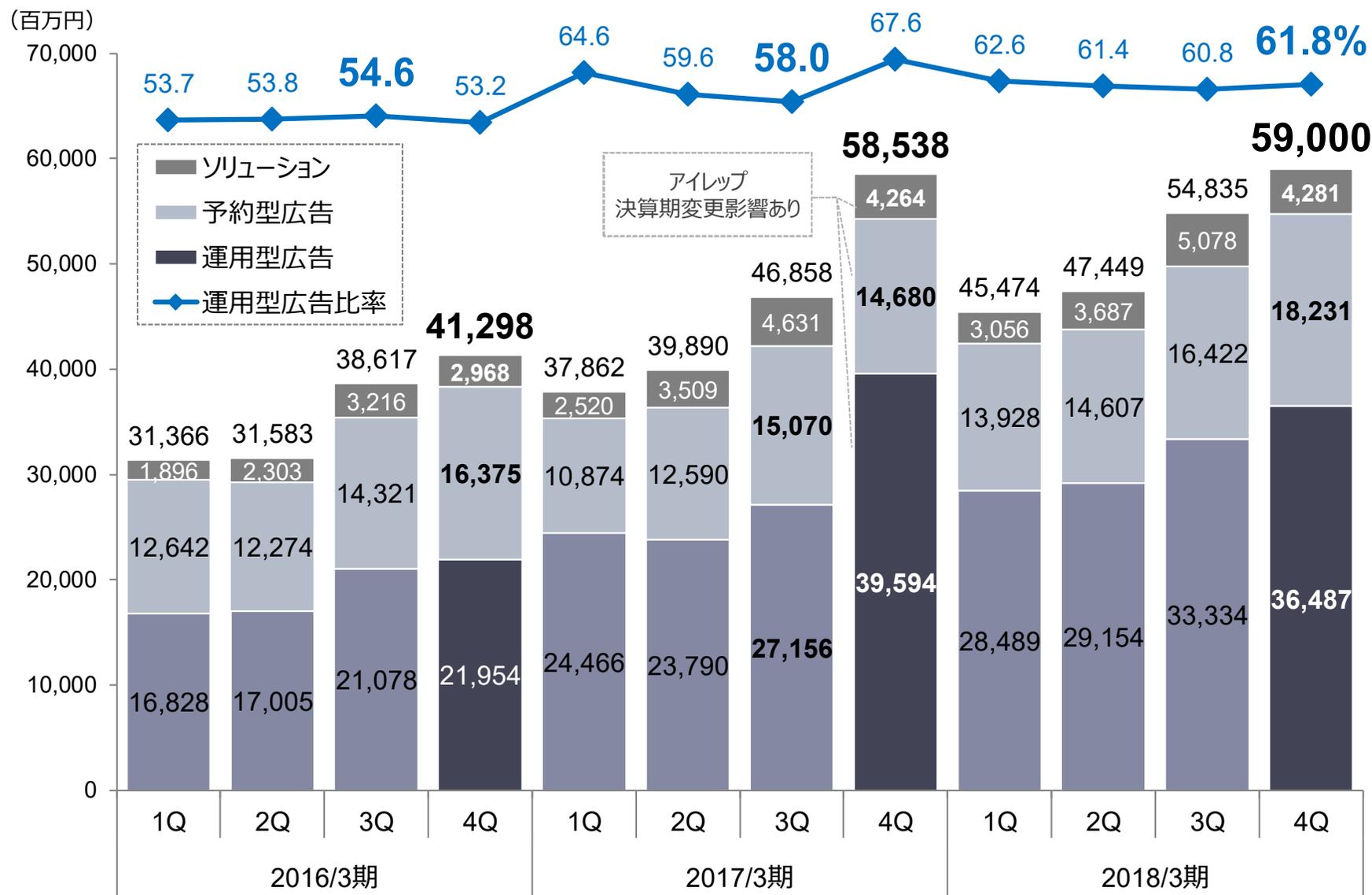
【補足】旧アイレップの取扱い額推移

- 通期累計で前年同期間比120%で成長
- ソーシャルメディアなどのディスプレイ広告が引き続き拡大し、成長に貢献





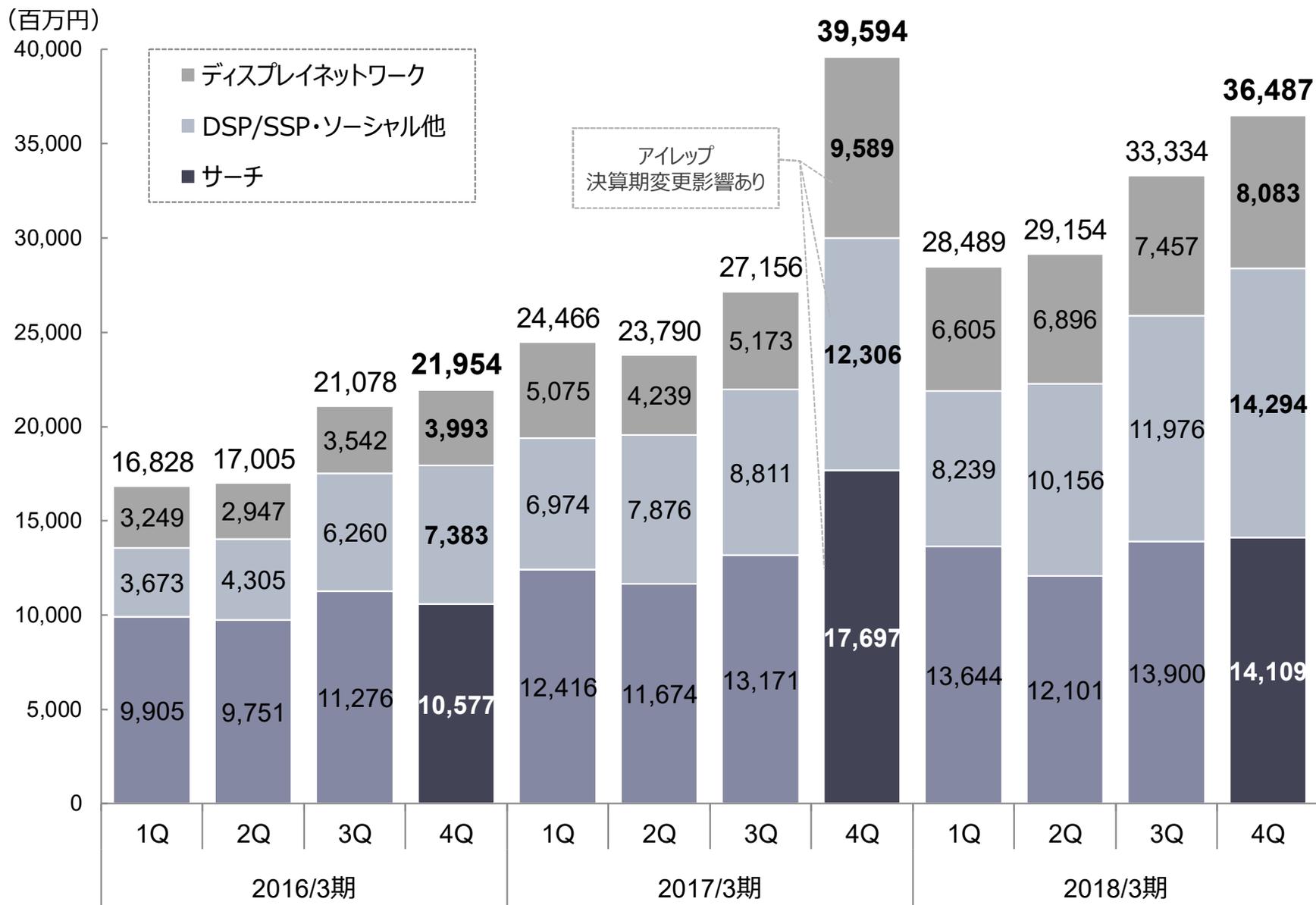
※ 2018年3月期より、売上高比率は「インターネット関連事業」実績に対する比率とし、過去分も遡及して修正しております。



※ 2018年3月期より、運用型広告比率は「インターネット関連事業」実績に対する比率とし、過去分も遡及して修正しております。

※ 2017年3月期まで「運用型広告」に区分していた「DMP」実績は、2018年3月期より「ソリューション」に区分し、過去分も遡及して修正しております。

インターネット関連事業 運用型広告の売上高推移

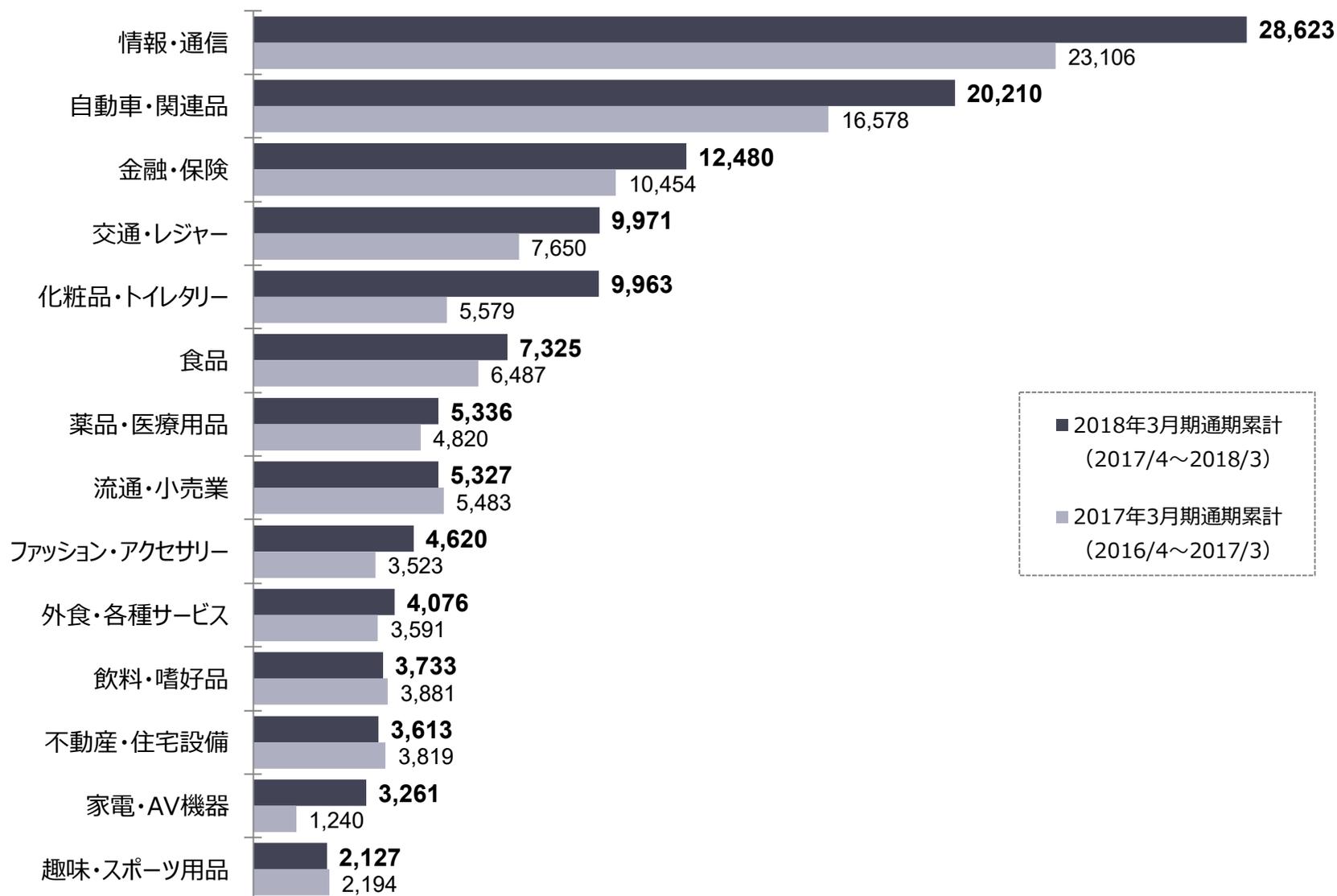


※ 2017年3月期まで「運用型広告」に区分していた「DMP」実績は、2018年3月期より「ソリューション」に区分し、過去分も遡及して修正しております。

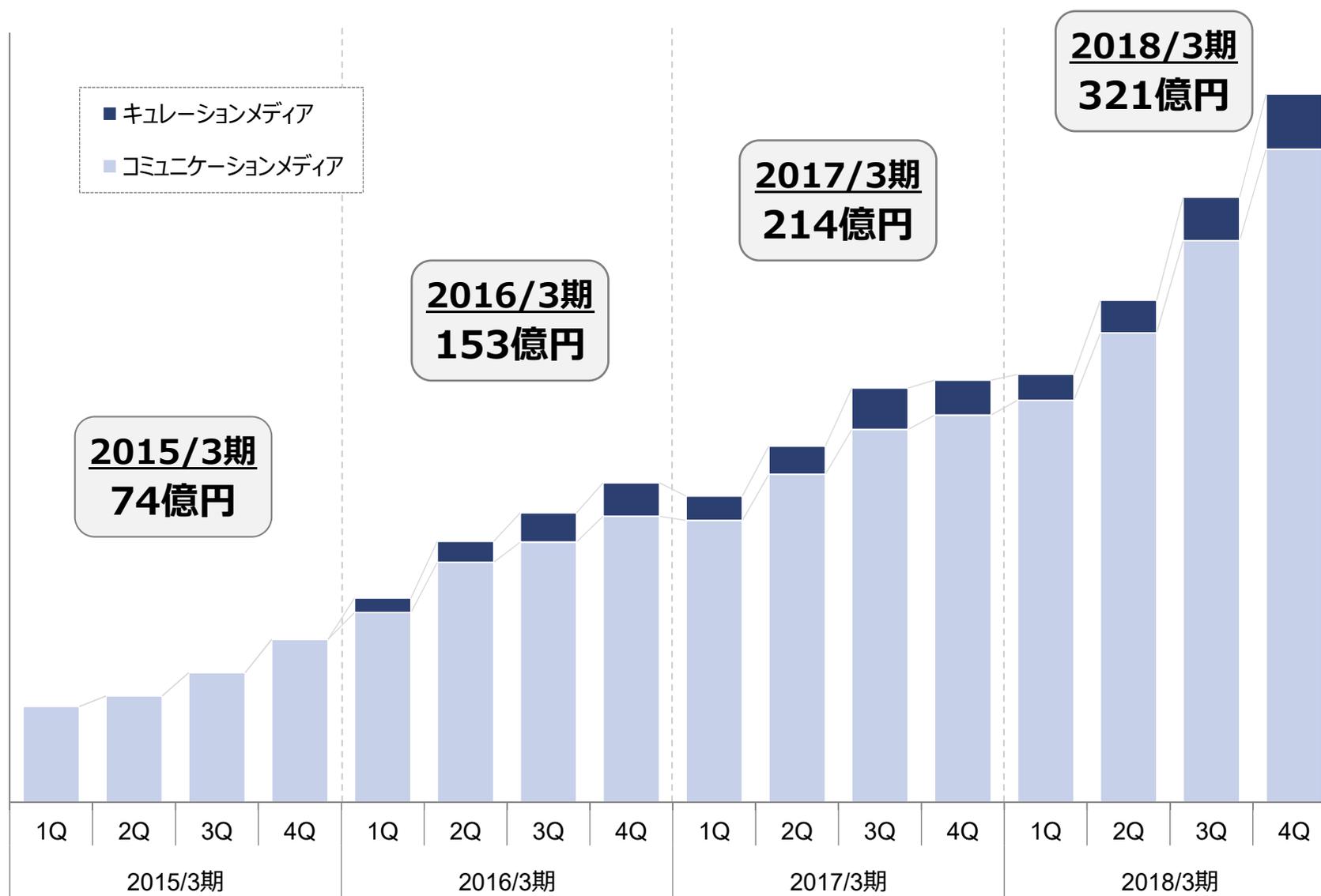
パートナービジネス

業種別売上高（メディアサービス）

(百万円)



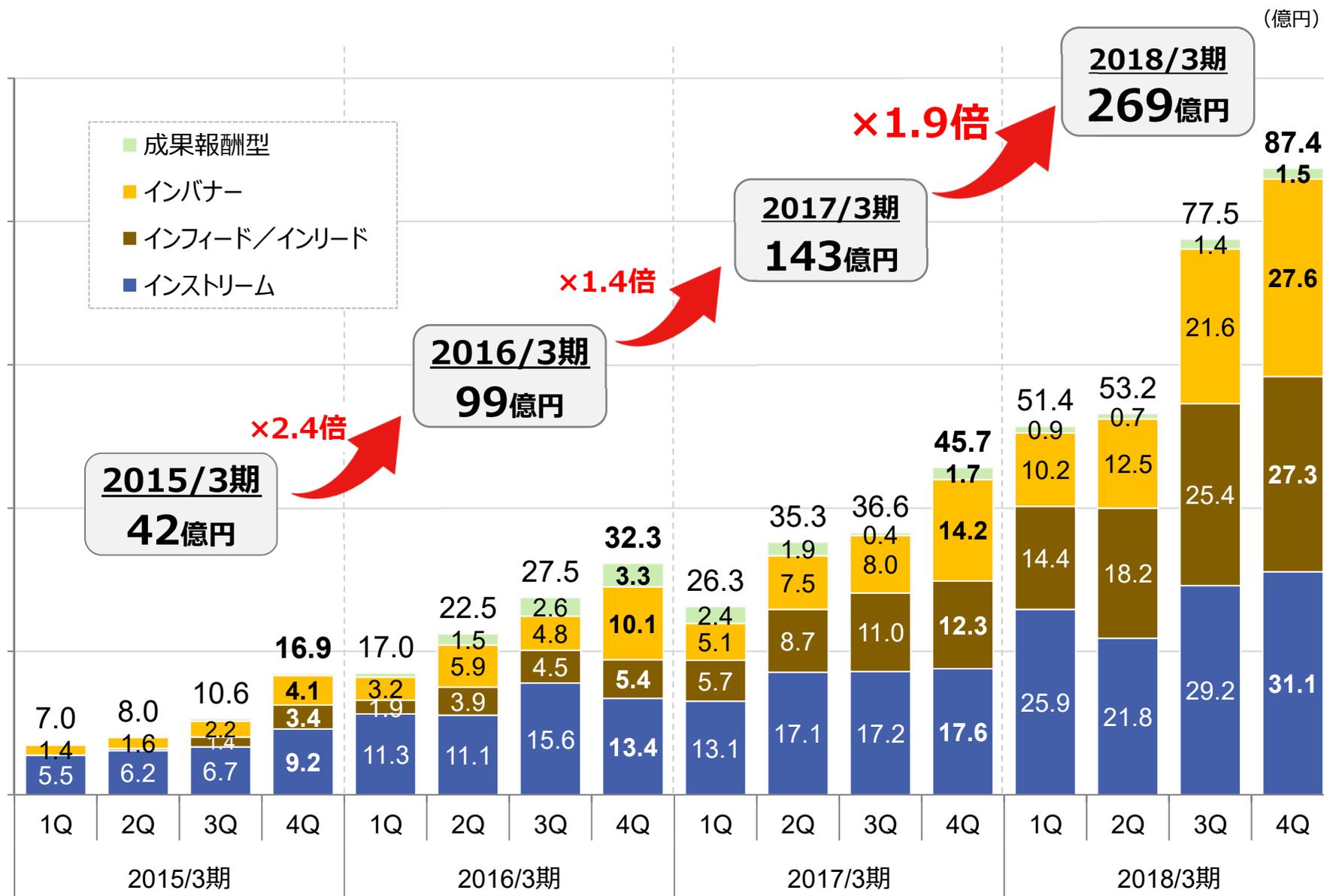
※ 2018年3月期より集計範囲および集計区分を変更し、2017年3月期実績は遡及して再集計しております。



※ 2018年3月期より、集計範囲を「パートナービジネス メディアサービス」に変更しております。（2017年3月期以前はDAC単体で集計）

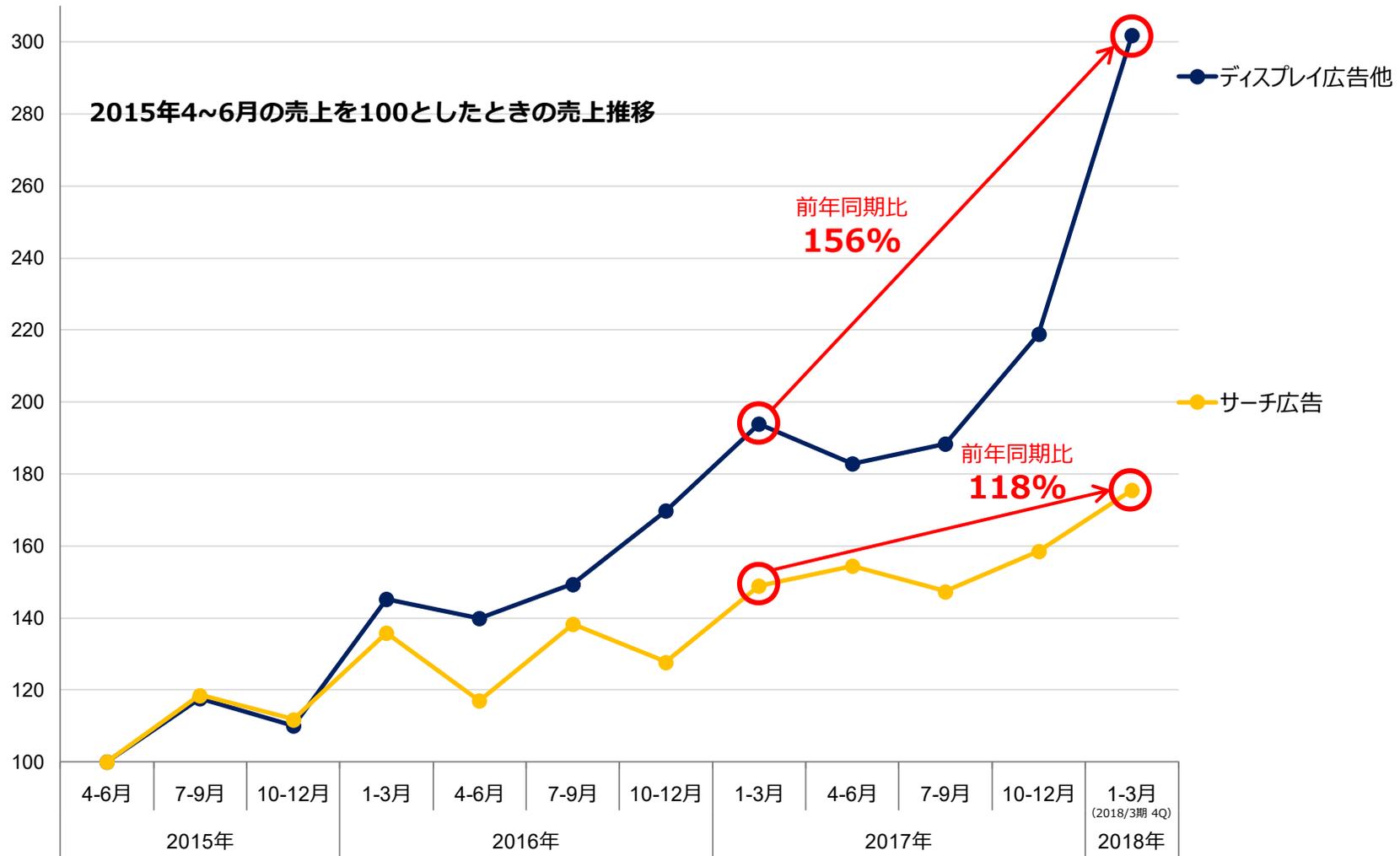
パートナービジネス

動画広告売上高推移（メディアサービス）

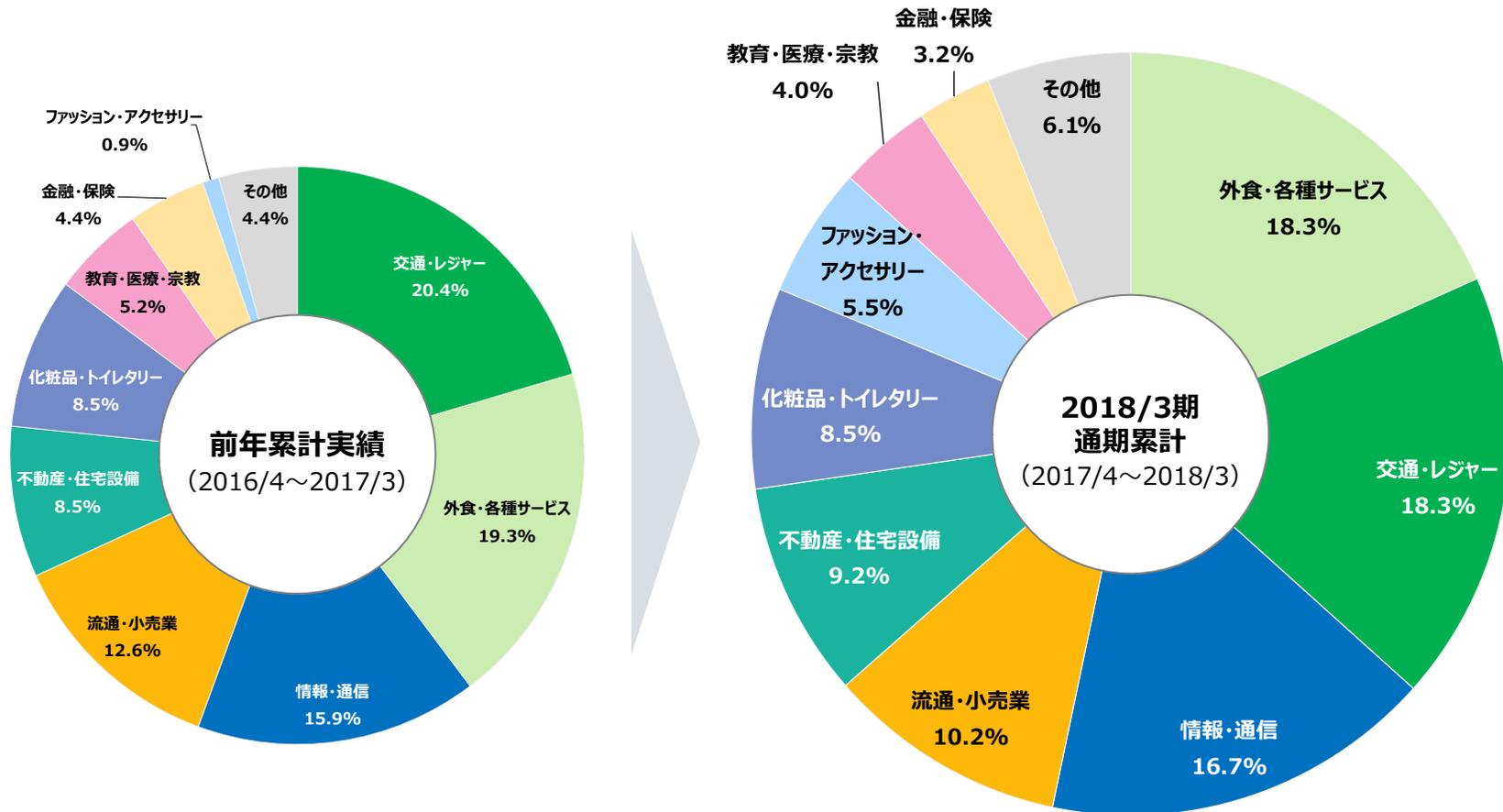


※ 2018年3月期より、集計範囲を「パートナービジネス メディアサービス」に変更しております。（2017年3月期以前はDAC単体で集計）

- サーチ広告の前年同期比**118%**に対し、ディスプレイ広告は**156%**で拡大



- 外食・各種サービス（人材サービスなど）、交通・レジャー（航空会社・旅行予約サイトなど）、情報・通信（通信事業者・ゲームなど）の構成比が継続して大きい
- 特定業種への大きな偏りがない顧客基盤が特徴



主なグループ会社の動向

			2018年3月期 通期累計 ※1	
			売上高	営業利益
DAC グループ	 D.A. Consortium	DAC		
	 UNITED	ユナイテッド		
	 HAKUHODO i-studio	博報堂アイ・スタジオ		
	 PLATFORM ONE	プラットフォーム・ワン		
	 TORCHLIGHT	トーチライト		
	 D.A.C. Beijing	北京DAC		
	 D.A.C. Asia	DAC ASIA		
アイレップ グループ	 irep	アイレップ		
	 LOCALIO	ロカリオ		
	 DIGITAL MARKETING Indonesia	DIGITAL MARKETING INDONESIA		
	 DIGITAL MARKETING Vietnam	DIGITAL MARKETING VIET NAM ※2		

※1 矢印は前年同月実績との比較です。

※2 旧社名：MOORE ONLINE DEVELOPMENT SOLUTIONS CORPORATION

2018年3月期4Qの取り組み

1 効率化によるシナジー効果

- ✓ 事務所の再構成やオフィス統合、システム代替による効率化の実現
- ✓ ニアショア・オフショアを活用したローコストオペレーションの徹底

2 既存領域の競争力強化

- ✓ 運用体制およびソリューションサービス体制の集約・最適化
- ✓ アイレップは、クライアント向き合いのエージェンシー事業に特化し、収益向上を狙う
- ✓ グローバルプラットフォームへの対応を強化し、サービス・プロダクトの充実による顧客対応力強化

3 成長分野への投資

- ✓ 優良データホルダーとの連携強化など、データ利活用の更なる促進
- ✓ コンテンツマーケティングに関する取り組みの推進
- ✓ グループ一体となったグローバル対応チームでのビジネス拡大

2018年3月期4Qの取り組み | 既存領域の競争力強化

- DACグループ、LINEの法人向けサービスの販売・開発パートナー制度 (※1) において、各種認定を取得 (※1) LINE Biz-Solutions Partner Program

LINE Biz Account部門 / Sales Partner

 **D.A.C Consortium** ➤ 2年連続で最上位の「Diamond」に認定



LINE公式アカウント、LINEビジネスコネクトなどを対象とし、売上額やアカウントの新規開設件数、平均Push配信数などを基準に認定

LINE Ads Platform部門 / Ad Tech Partner

 **TORCHLIGHT** ➤ 初の「Ad Tech Partner」に認定



「LINE Ads Platform」上で展開する広告において、売上額や効果改善事例、実装機能内容などを基準に認定

★ DACは、2017年10月に「Data Provider Partner」に認定 ★

➡ 認定パートナーはランクに基づき、新プロダクトの優先案内や営業サポート、プロダクト開発サポートなどの特典が付与される

2018年3月期4Qの取り組み | 既存領域の競争力強化

- アイレップ、「Yahoo!マーケティングソリューション パートナープログラム」において、最高評価「ダイヤモンド」に継続認定

同時に、スポンサーサーチ®の「2018年度上半期審査エクスペスパス」も継続取得

POINT

2013年上半期より、両制度を11期連続で取得しているのはアイレップのみ

Yahoo!マーケティングソリューション パートナー

Yahoo! JAPANの厳正な審査を経て、Yahoo! JAPANの広告商品やサービスに関する見識の深さ、総合的なサービス活用の実績に応じて認定

審査エクスペスパス

「広告掲載基準」・「入稿規定」双方の順守率が一定の基準を満たした代理店に対し、広告商品別に半期ごとに審査の上付与され、半年間は掲載前の審査が免除に

- DAC、Google Cloud Platform™ サービスパートナーに認定



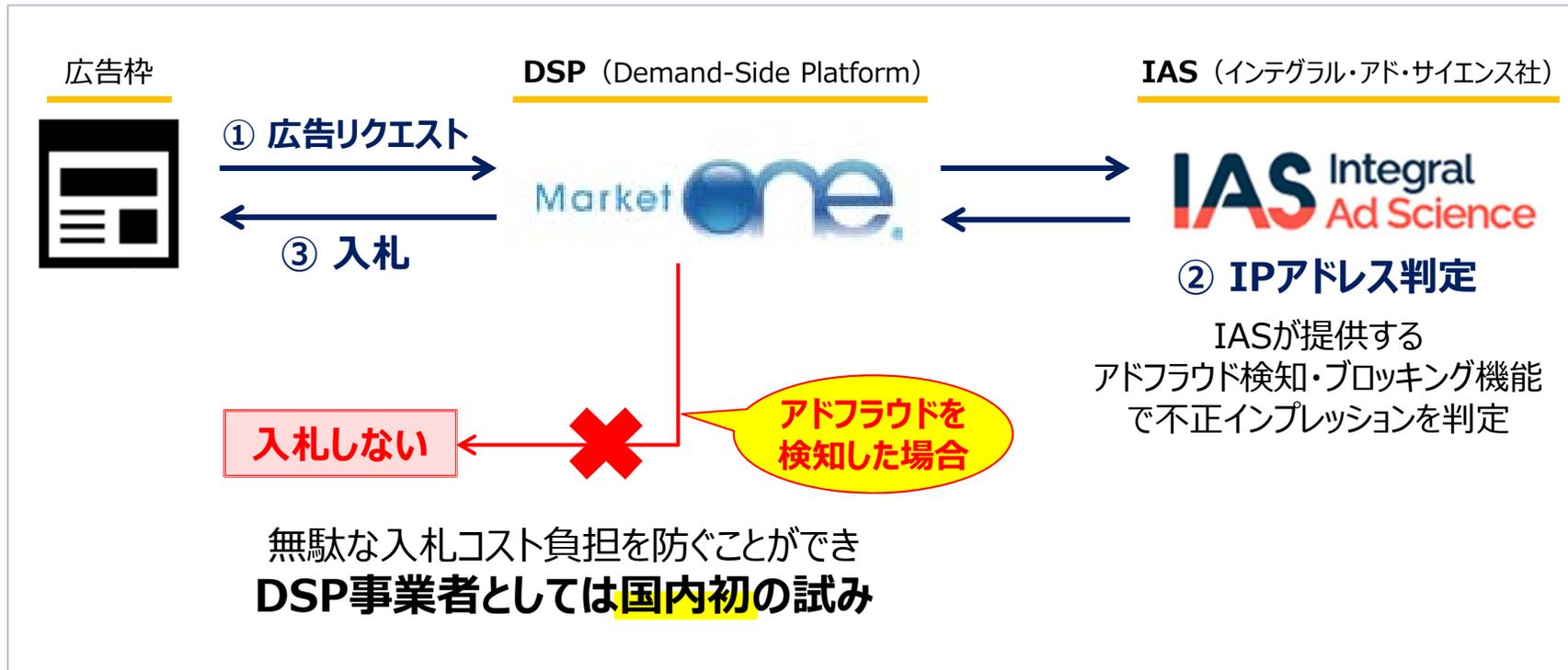
Google Cloud Platform™ (GCP™)

Google™がクラウド上で提供するサービス群の総称

Google社内で使われているものと同様のインフラストラクチャやデータ解析などのテクノロジーを、クラウド上で安全に利用することが可能

2018年3月期4Qの取り組み | 既存領域の競争力強化

- DACグループのプラットフォーム・ワンが提供する DSP「MarketOne®」において、IASと連携し、国内初となる全広告キャンペーンのアドフラウド排除を開始



➡ 今後も、IASと連携し、「MarketOne®」のビューアビリティ、ブランドセーフティおよびベリフィケーションの機能を強化

2018年3月期4Qの取り組み | 成長分野への投資

各成長分野の様々な企業と資本業務提携、業務提携を実施

データドリブン

- データ流通プラットフォームを運営する**EverySense社**と資本業務提携
- 日韓でインターネット広告事業を展開する**A1 Media Group社**と資本業務提携

コンテンツマーケティング

- クオント社とコンテンツマーケティングにおける**指標開発**で業務提携
- コンテンツ配信プラットフォームを運営する**リボルバー社**と資本業務提携

グローバル

- 米国子会社の**Yengage**、データプラットフォーム提供の**Intertrust社**と業務提携
- 中国最大のインターネット企業 **テンセント社**と**日本初の戦略的パートナーシップ**を締結

 [次ページで詳しく](#)

2018年3月期4Qの取り組み | 成長分野への投資

- 中国最大のインターネット企業 **テンセント社**と**日本初の戦略的パートナーシップ**を締結

約10億の中華系ユーザーを有するWeChatをはじめとする、テンセントプラットフォームへの日本における広告出稿に対し、**プランニングから運用に至るすべてのサービスを提供**

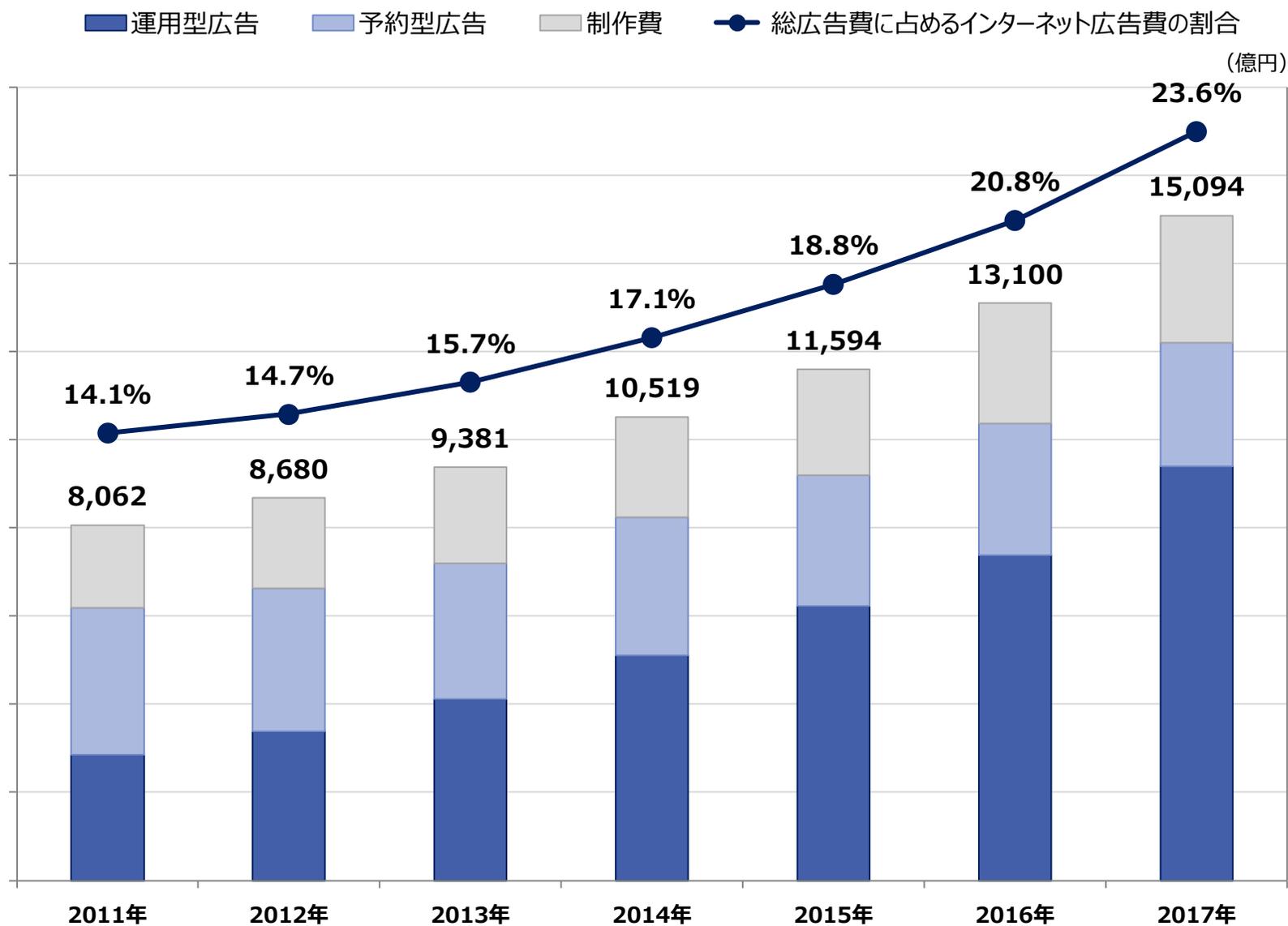


→「**微信 (Weixin) / WeChat (ウィーチャット)**」の公式アカウント開設・運用もサポート

➡ **中国市場の情勢やテンセントプラットフォームの最新情報**を取得でき、**訪日外国人をターゲットとする企業や広告会社へ充実したサービスの提供が可能に**

2019年3月期方針

インターネット広告市場の推移



出典：(株)電通 日本の広告費

広告を超えたマーケティング領域全体へのデジタル化の浸透

プラットフォームの影響力拡大

インターネット広告の信頼性に対する関心の高まり

1 既存領域の競争力強化（継続）

- ✓ **DACとアイレップの連携強化**を推進し、パートナービジネス／クライアントビジネス双方のレイヤーにおける収益の増大
- ✓ **RPAを活用したシステム開発**などによる**生産性の向上**
- ✓ 業界団体等と連携した、**広告の信頼性維持・向上**への取り組み

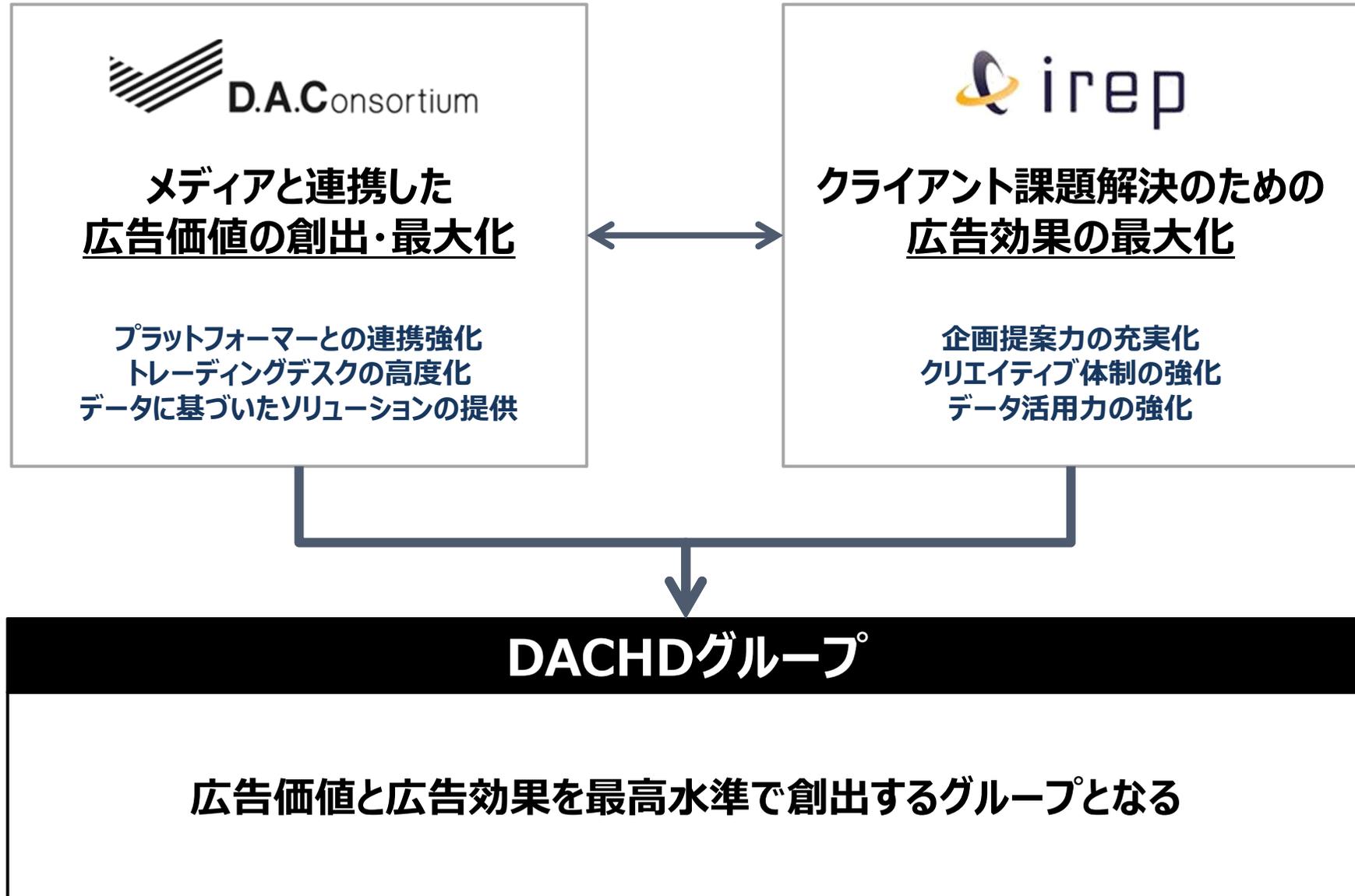
2 新成長領域への取り組み

- ✓ 「データ」「コンテンツ」「クリエイティブ」「CRM」などの新成長領域における、グループ競争優位性の確立

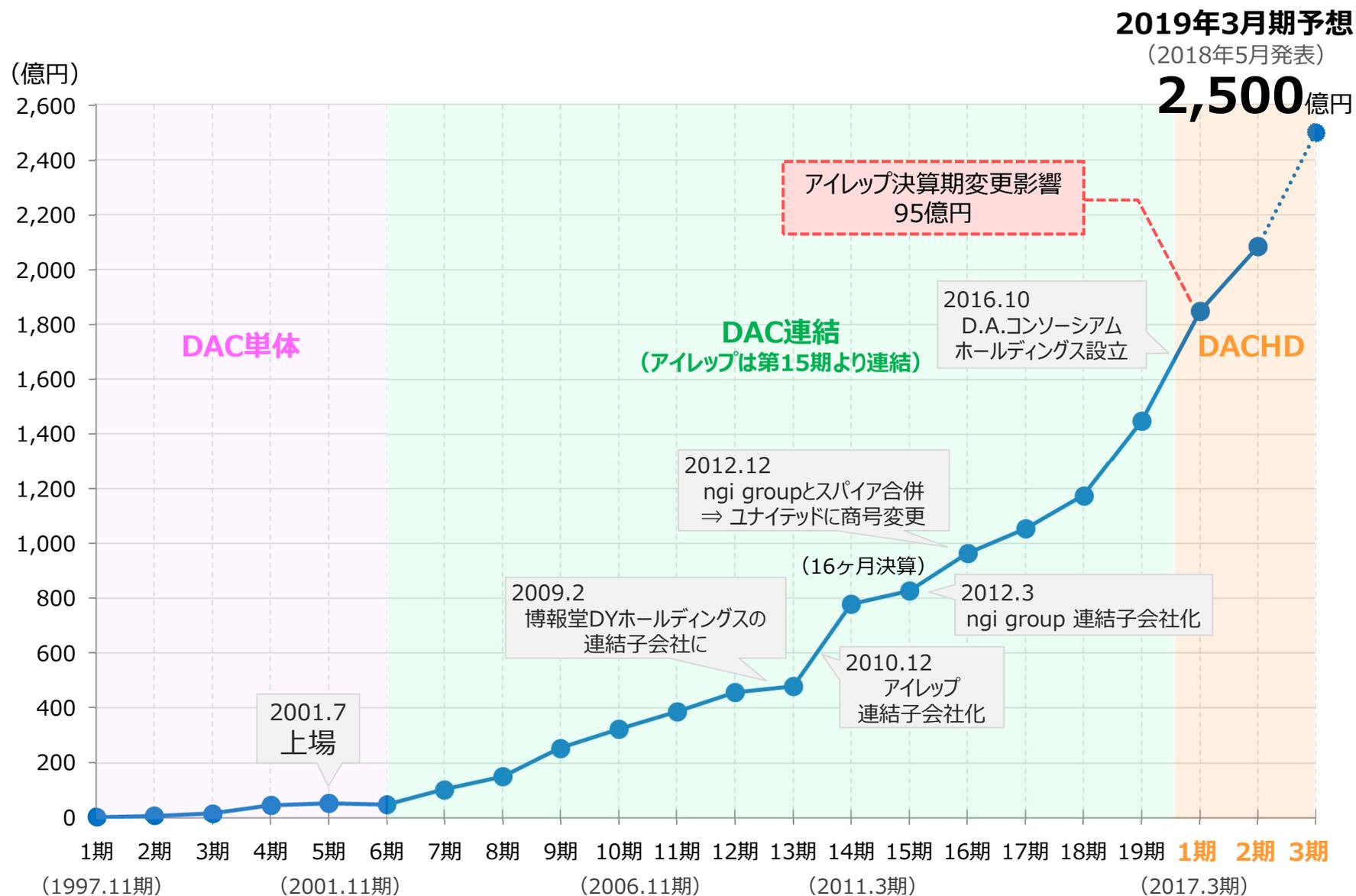
3 成長基盤確立のための先行投資

- ✓ **人材獲得・システム開発・M&A**等、各戦略遂行のための投資を積極的に推進
- ✓ **海外マーケット**での収益基盤の確立を目指し、事業インフラ等の整備の推進

各社のミッション

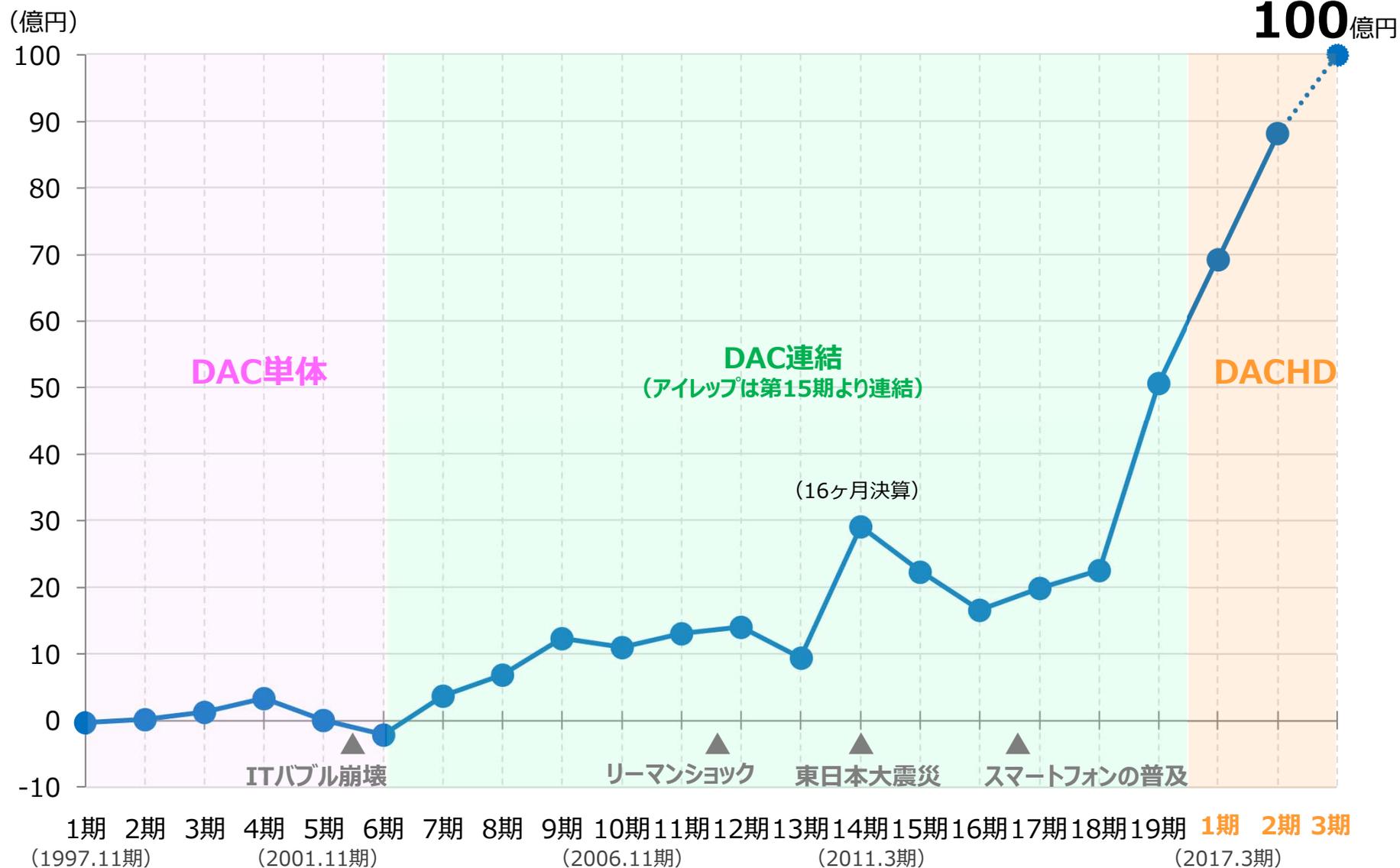


DAC設立時からの売上推移



DAC設立時からの営業利益推移

2019年3月期予想
(2018年5月発表)

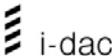


ご参考

D.A.コンソーシアムホールディングス会社概要

商号	D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 英文社名：D.A.Consortium Holdings Inc.
設立	2016年10月3日
資本金	4,000百万円
所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
上場市場	東京証券取引所第二部（証券コード：6534）
発行済株式総数	71,481,422株
役職員数	2,947名（連結）
事業内容	インターネット広告ビジネスを運営する子会社等の経営管理およびこれらに附帯又は関連する一切の事業

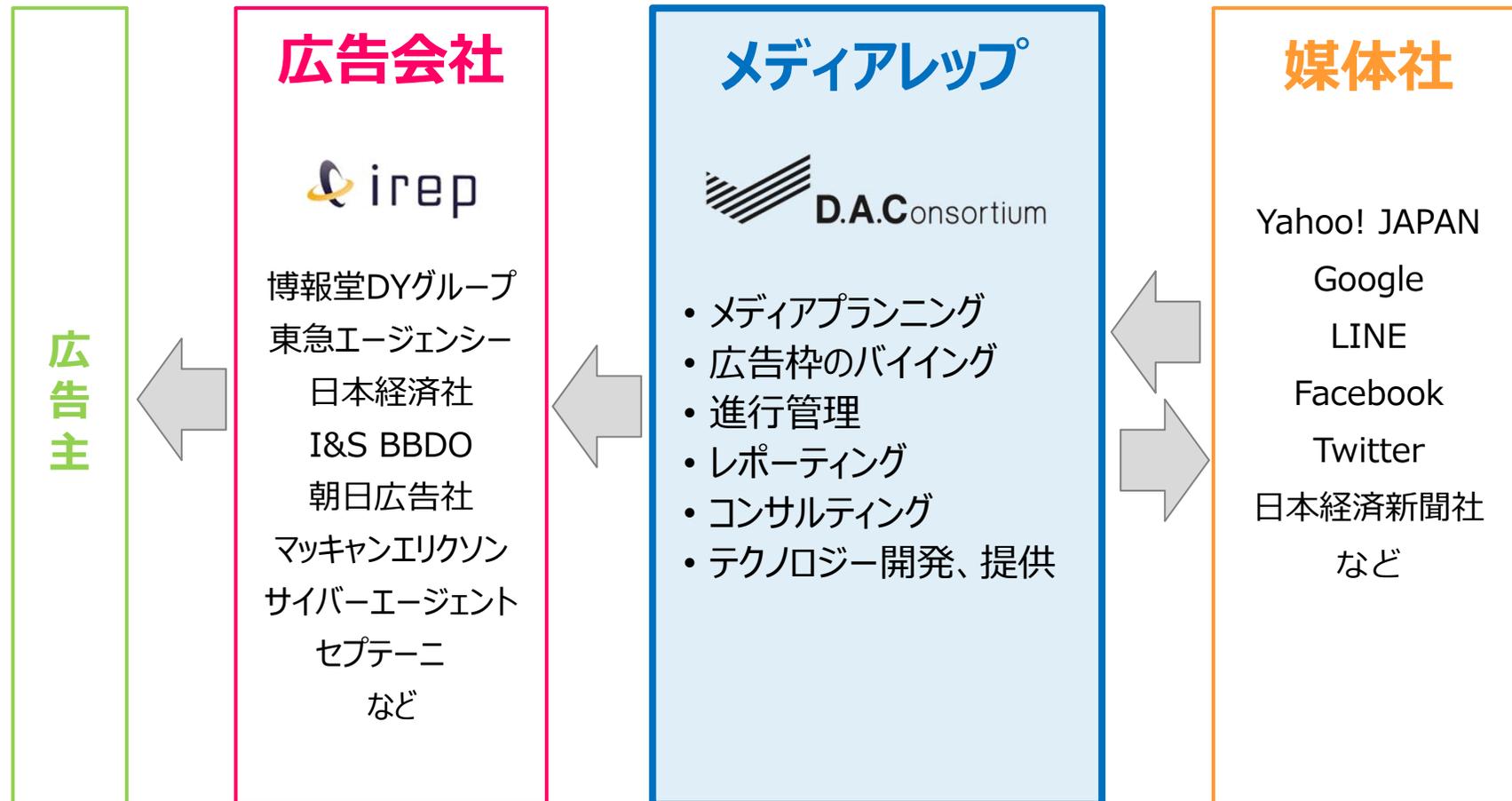
DACグループ | 主要連結子会社

社名	議決権比率 (間接保有含む)	事業内容
 UNITED ユナイテッド(株) <small>東証マザーズ</small>	44.4%	アドテクノロジー事業、スマホコンテンツ事業、ベンチャーキャピタル事業
 HAKUHODO i-studio (株)博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における企画制作、システム開発、CRM事業
 PLATFORM ONE (株)プラットフォーム・ワン	100.0%	インターネット広告取引のプラットフォームサービスの提供
 ADPRO (株)アド・プロ	65.8%	広告取引におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの進行管理業務の提供
 TORCHLIGHT (株)トーチャイト	70.0%	オウンドメディアと広告を中心としたソーシャルメディア活用支援サービスの提供
 D.A.C Beijing 北京迪愛慈广告有限公司	51.1%	中国におけるインターネット広告事業
 D.A.C Consortium Taiwan 台湾迪愛思股份有限公司	100.0%	台湾におけるインターネット広告事業
 D.A.C Asia DAC ASIA PTE. LTD.	51.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、市場リサーチ、グループ各社のアジア進出の支援
 i-dac I-DAC PTE. LTD.	85.0%	東南アジア地域における、統合デジタルマーケティングソリューションなどの提供
 D.A.C Tech Vietnam DAC Tech Vietnam	68.3%	デジタルマーケティング領域における高い開発技術を用いたソフトウェア開発
 yengage Yengage Corporation	100.0%	米国におけるインターネット広告事業

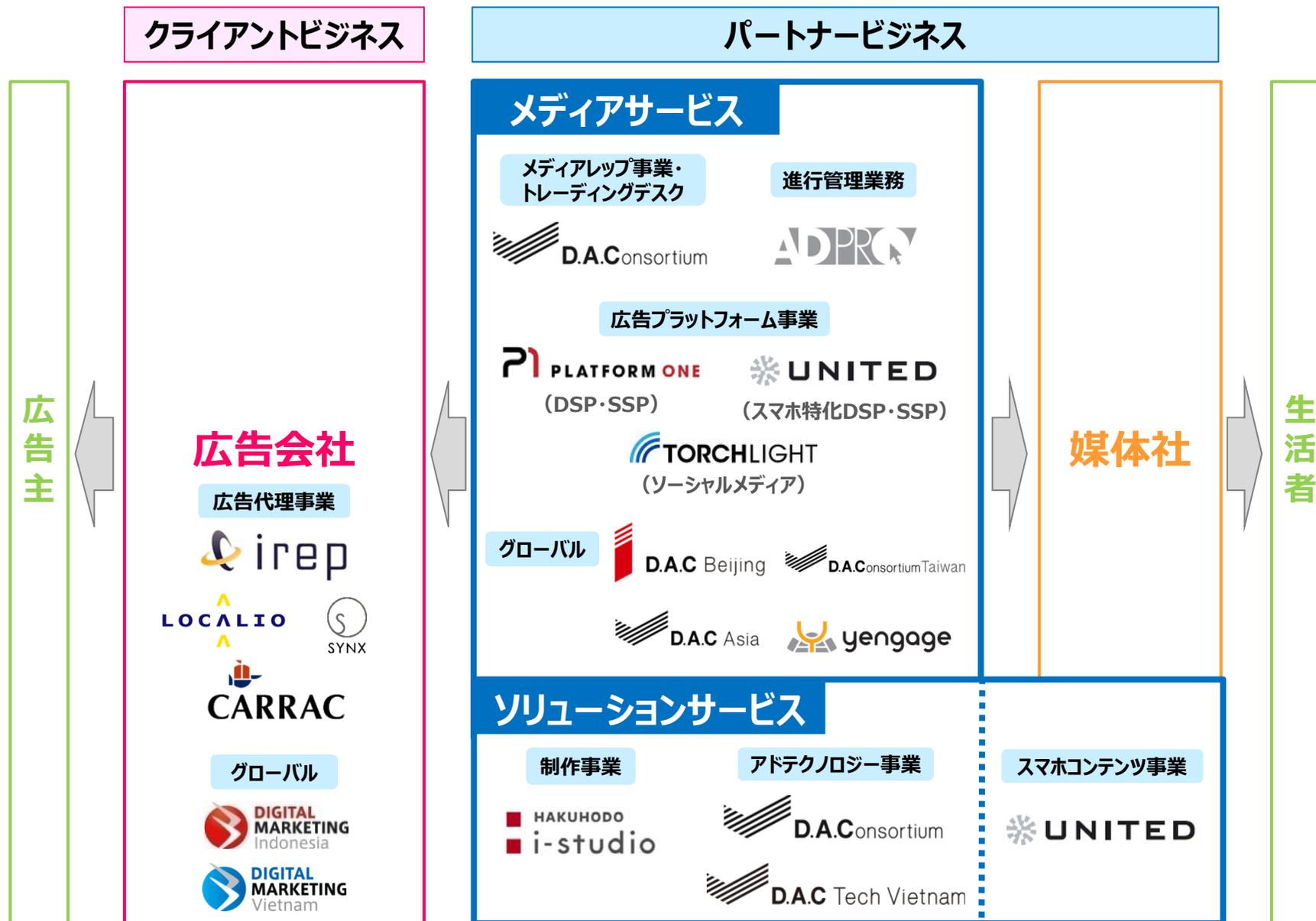
アイレップグループ | 主要連結子会社

社名	議決権 比率 (間接保有含む)	事業内容
 (株)ロカリオ	100.0%	中堅・中小及び地方企業向けリスティング広告およびネットワーク広告の運用サービスの提供
 (株)シンクス	51.0%	リスティング広告の運用・コンサルティングサービスの提供
 (株)NEWSY	91.2%	ニュース配信サイトの運営事業
 (株)カラック	100.0%	成果報酬型広告を中心としたデジタルマーケティング事業の提供
 PT.DIGITAL MARKETING INDONESIA	85.0%	インドネシアにおけるデジタルマーケティングコンサルティングサービス
 DIGITAL MARKETING VIET NAM CORPORATION	53.2%	ベトナムにおけるデジタルマーケティング領域の広告代理業
 北京艾睿普广告有限公司	100.0%	中国におけるデジタルマーケティング事業の提供

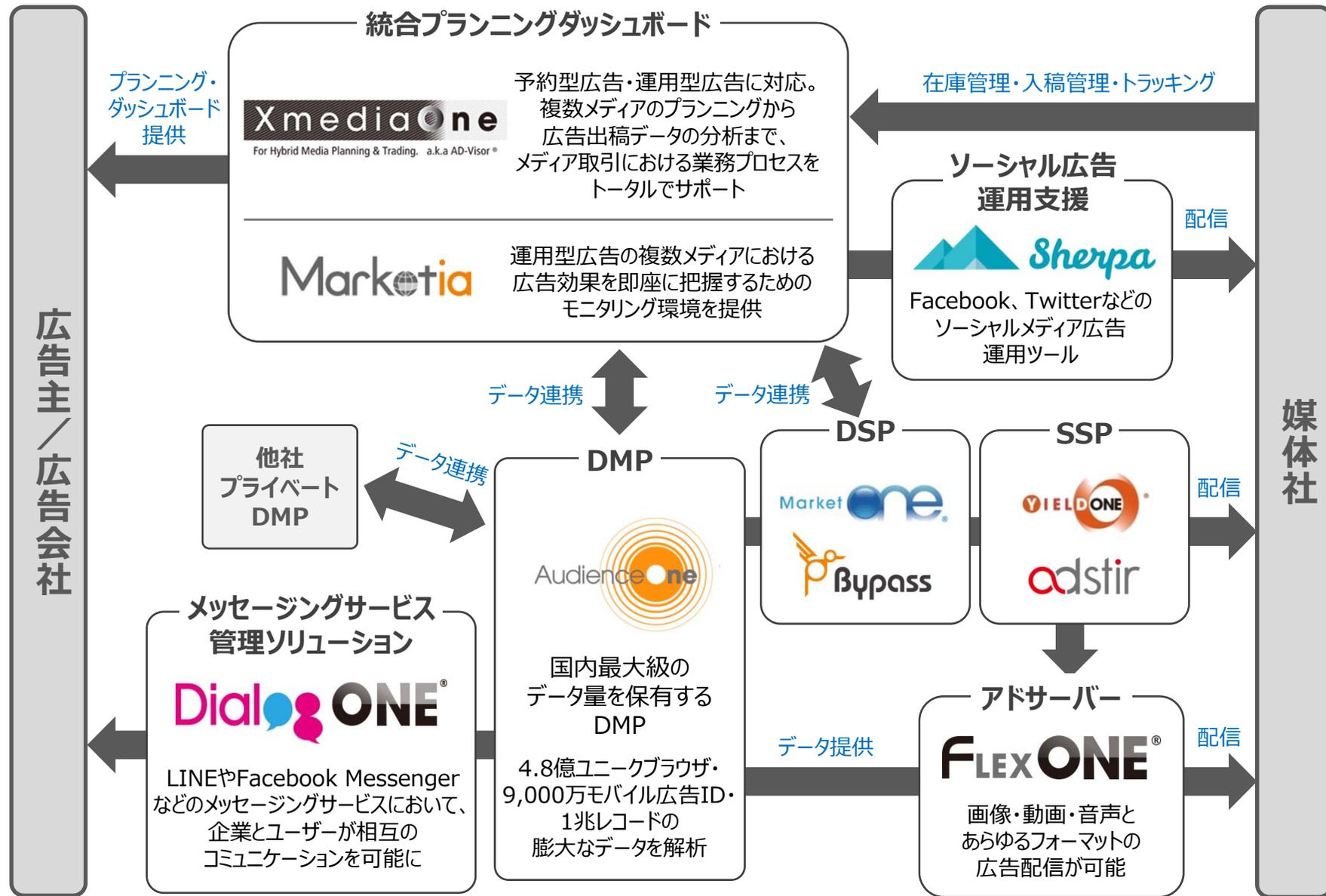
インターネット広告の流れ



インターネット関連広告事業のビジネスマップ



DACHDグループの主なアドテクノロジーラインナップ



本資料のご利用にあたって

本資料は、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社の事業及び業界動向についてのD.A.コンソーシアムホールディングス株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2018年5月10日現在において利用可能な情報に基づいて、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社により2018年5月10日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、事業に関する詳細の数値につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。